

備前市事務事業評価表

事務事業名	人材養成講座事業		コード	担当課係	生涯学習課生涯学習係
			03-02-03-04	担当者	波多野 靖成
事業実施期間	平成15年度～		電話	0869-64-1841	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	成人教育			
	施策	企業・地域との連携			

事業について	
目的	テーマを定めて、市民の生涯学習における指導者を養成
対象 (誰のために)	生涯学習を実践し、指導者をめざす市民
内容	地域あるいは各種団体と連携して講師を招き、職員による啓発を織り交ぜながら講座を開催し、人材を養成する。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
講座受講人数	21	人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	77	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	740	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	817	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.10	人		人
------	------	---	--	---

結果指標①	結果指標名	講座受講人数	
	結果指標量	21	
	単位	人件費	
	対前年比	—	

結果指標②	事業費	817,000	円		円
	単当たりコスト①	38,905	円		円
	結果指標名	講座受講人数			
	結果指標量	21			

事業の成果			
成果指標名	講座受講人数	式又は説明	成果指標は受講生による今後の活動によるが、翌年度からは幅広い活動のテーマにより開催予定
成果指標量	21		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	40	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の 妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	課題認識 市民の生涯学習ニーズに応じていくには、幅広い分野での専門的知識や学習活動を支援する人材が必要である。15年度から17年度は郷土史・文化財を中心に行ったが、今後はより大衆的な学習体験をしていただくものを企画したい。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の 評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	文化財保護審議会の委員の方にお手伝いいただくなど、身近な専門家の登用により低コストで内容のある講座が出来たと思われる。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の 評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	参加者がそれぞれの立場において、いかに学んだ内容を市民に伝えていただけるかは今後の活動内容によるので現段階では有効性が判断できない。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	講習修了者の方が、市内の団体やグループの学習活動の指導者になっていただくのが目標であり、今後は平成19年度「全国生涯学習フェスティバル」開催に向け、必要な人材・ボランティアの養成を図る必要がある。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	40	結果指標量②	
目標値	結果指標量	40	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	「全国生涯学習フェスティバル」に向けての指導者・ボランティア養成	18年度	多くの受講生による多様なニーズに対応したボランティア養成

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。